４年生社会科　資料

食の新潟国際賞　これまでの本賞受賞者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回（年） | 受賞者（国） | 研究の内容 |
| 第１回  （２０１０） | モンティ．P．ジョーンズ（シエラレオネ） | 米の品種の研究をし，大変なアフリカの気候でもそだち，たくさんの米がとれる　「きせきの米」ネリカ種を開発した。 |
| 第２回  （２０１２） | ジョゼット．シーラン　（アメリカ） | WFP（世界の国々で作った国連世界食糧計画と言う組織）の長として，世界の　国々がうえることのないように，食りょうを助けるいろいろな活動に取り組んだ。 |
| 第３回  （２０１４） | 坪井　達史  （日本） | ３０年間にわたって，アジアやアフリカ，中東などのまずしい国々で，稲作を　　　広めようと技術を伝えてきた。 |
| 第４回  （２０１６） | 岩永　　勝  （日本） | 国際とうもろこし・小むぎ改良センターの所長に選ばれ，世界的な研究者，指導者として世界の食りょう問題の解決のために取り組んだ。 |

※「食の新潟国際賞」は，上にあげた本賞以外にも，毎回２~３名の受賞者を選んでいます。

［参考］　「食の新潟国際賞」公式ホームページ　http://www.niigata-award.jp